

2007年3月6日

報道各位

関西学院広報室
TEL:0798-54-6017
FAX:0798-51-0912

「地域フィールドワーク（西宮）『学生がつくる西宮検定』」の開講について

日ごろは関西学院に格別のご高配を賜り、ありがとうございます。

関西学院大学では2007年度に座学とフィールドワークを交えた標記講義を下記のとおり開講いたします。本講義は、「学生が西宮検定を作る」ことを目標に定め、学生が地元西宮に関心を持ち、検定問題の作成過程を通じて西宮の歴史や文化、商業などを学び理解を深めることを目的としています。具体的には、「西宮えびす」、「灘酒」、「甲子園」の三つを支柱とした検定問題を作成し、検定試験の学習方法、実施方法についても学生主体で開発を進めます。

記

科目名：地域フィールドワーク（西宮）「学生がつくる西宮検定」

開講期間、単位等：2007年4月～2008年1月（通年） 4単位、履修基準年度1年

開講場所：西宮上ヶ原キャンパスおよび西宮市内各地

講師・ゲストスピーカー予定者：寺地孝之（商学部教授・本講義代表者）、宮本又郎（経営戦略研究科教授）、木本圭一（商学部助教授）、吉井良昭（西宮神社宮司）、吉井良英（西宮神社禰宜）、長部文治郎（大関株式会社名誉会長）、仲田富士男（大関株式会社常勤監査役）、脇村春夫（日本高等学校野球連盟会長）、松本恭輔（株式会社Link-ef代表取締役）

講義方法：

春学期（4～7月）は、主に「西宮えびす」、「甲子園」、「灘酒」をテーマに、それぞれに精通した講師・ゲストスピーカーが講義を担当する。秋学期（9月～1月）は、春学期の講義を踏まえて受講者を3グループに分け、上記テーマについて各200問程度の問題作成とテキストの編集にあたる。その後、検定受験者のための教材作成を行うと同時に、本検定が実際に実施され、社会から一定の評価を得るためのマーケティングや広報活動等を検討する。また必要に応じて授業時間外に現地調査やヒアリング等を行う。

以上

本件に関するお問い合わせは、社会連携センター（0798-54-6890）までお願いいたします。



Kwansei Gakuin University